

「ニッポン食育フェア」に参加

1月14日(土)、15日(日)に東京国際フォーラムにおいて「第3回ニッポン食育フェア」が開催されました。食品安全委員会も、内閣府食育推進室と合同で出展し、食品の安全性に関する理解をさらに深めていただけるよう、リスク分析の手法、委員会の役割、リスク評価の例についてのパネルの展示や、設置したパソコンによる委員会のホームページの紹介、季刊誌の配布を行いながら、食品の安全性に関する情報の提供やご質問への対応などを行いました。両日で2万6千人を超える方々にご来場いただき、食育に関する国民の方々の関心の高まりがうかがえました。



「食品安全のリスクコミュニケーションに関する国際ワークショップ」開催

食品安全委員会では、2月1日(水)～3日(金)の3日間、オランダ、カナダ、日本の食品に係るリスクコミュニケーションの有識者による国際ワークショップを開催しました。これは各国の現状についての発表を通じて有識者の知見や経験を共有するとともに、「リスク分析、特にリスク評価の過程への消費者の参画と役割」と「消費者の参画を具体化するための、リスクコミュニケーションの手段・技術」等について議論し、食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションの今後の方向性について検討するためのものです。この結果は調査報告としてまとめられた上、リスクコミュニケーション専門調査会での調査審議等に役立てられます。なお、報告概要はホームページ上で掲載を予定しています。



■出席者(順不同):

Dr. Sandra Lavigne: Canadian Food Inspection Agency (カナダ)
 Ms. J. A. M. (Annette) Lijdsman: Voedsel en waren autoriteit (オランダ)
 若松 征夫: 東京電機大学教授
 鬼武 一夫: 日本生活協同組合連合会政策推進室長
 西郷 正道: 食品安全委員会リスクコミュニケーション官
 引地 和明: 農林水産省消費・安全局消費者情報官
 嘉田 良平: アミタ株式会社 持続可能経済研究所代表
 ※そのほか食品安全委員会委員、専門委員、関係府省担当官

「食の安全・安心についてのリレー講義」開催

2月10日(金)、千葉県市川市の和洋女子大学において、食品安全委員会委員による「食の安全・安心についてのリレー講義」を行いました。講師は寺田委員長をはじめ、小泉・見上・寺尾各委員。聴講したのは学生や教職員、一般市民など約200名。「我が国の食品のリスク分析と食品安全委員会の役割」「がんと健康の面から考える安全・安心な食生活」「メチル水銀」「牛海綿状脳症(BSE)と鳥インフルエンザ」「遺伝子組換え食品」などについて、これまで食品安全委員会が議論を重ねてきた内容をわかりやすく講義し、その都度質問を受ける形で行われました。こうした集中リレー講義は初めての試みでしたが、通常の見聞交換会等とはまた違った、学生さんたちの新鮮な反応や意見に触れることができた、有意義な一日となりました。

